

# 指導しやすく評価しやすい教科書

- **JUMP** でめざす姿をもとに、バックワードデザインで指導場面と評価場面を設定しました。
- 一年間に3回の **JUMP** を設定し、何度もくり返し言語活動をして、児童の力を十分に高めたところで評価をします。
- 児童に **JUMP** でめざす姿が児童にわかるように、動画やサポート資料を工夫しました。



## 評価時期・方法を厳選!

◆ 指導場面を十分にとり、評価の時期や方法を厳選したことで、適切な評価をおこなうことができます。



## 児童にもわかりやすい評価基準!



発表ややり取りのモデルは、A評価・B評価を想定したものを用意しました。二次元コードからアクセスできる教科書ウェブサイトで、児童が必要に応じて確認することができます。



**JUMP** の発表では、配布用ルーブリックを用意します。

- ★がんばりたいことに○をしよう。
- ◎発表の内容について
    - ・あいさつをする。
    - ・名前を伝える。
    - ・みんながあまり知らないことで、伝えたいことの数。
  - ◎聞いている人に対して
    - ・伝わっているか、みんなの様子を見ながら話す。
    - ・伝わっていないさそうなら、くり返して言う。
    - ・みんなはどうなのか、聞いてあげる。
  - ◎伝え方
    - ・みんなに思いが伝わるように、内容や文の順番を考える。
    - ・みんなに思いが伝わるように、絵や写真などの使い方を工夫する。

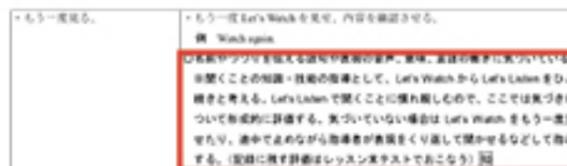
## 安心の評価サポート!



### 指導書

指導書では、各レッスンの評価計画・評価基準を提案しています。指導案では、規準に達していない場合の指導方法を提案しています。

### 指導案の例



### 2種類の確認テスト

指導と連携した2種類のテストを用意します。  
 チェックタイム: レッスン末に実施。「聞くこと」「読むこと」の知識・技能を確認。  
 チャレンジタイム: ユニット末に実施。「聞くこと」の思考・判断・表現と「書くこと」の知識・技能を確認。

